

河川整備の目標

谷沢川及び丸子川流域では、洪水に対する安全性を確保すると共に、生態系に配慮した川づくりや、水辺に親しめる川づくりを進めていきます。

計画対象区間と期間

計画対象区間は、谷沢川及び丸子川の全川です。
計画対象期間は、おおむね30年間とします。

河川の整備

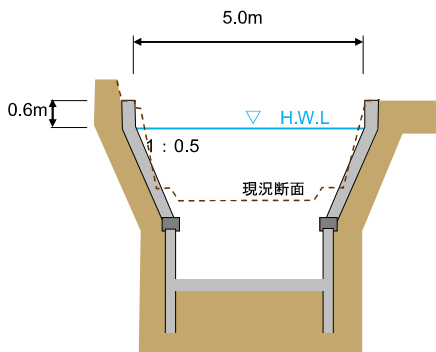
策定の背景

近年、都内では、現在の中小河川の目標整備水準である1時間あたり50ミリを超える豪雨が増加し、それに伴う水害が頻発していることから、これらの豪雨に対処していくための新たな治水対策が喫緊の課題となっています。そのため、東京都では、「中小河川における都の整備方針～今後の治水対策～」(H24.11)において、目標整備水準を区部では時間最大75ミリの降雨(年超過確率1/20)に引き上げました。

治水・・・洪水による水害の防止又は軽減

河川の整備を進め、流域対策を含めて1時間あたり75ミリの降雨により発生する洪水を安全に流すことを目指します。

谷沢川では毎秒50 m^3 の流下能力を持つ延長約3kmの分水路整備を行うとともに、流下能力の不足する中下流部の一部区間の河道改修を行います。丸子川では適切な維持管理により現況流下能力を維持します。



計画標準断面図(矢川橋～利剣の橋下流)



分水路の例(三沢川分水路)

環境

谷沢川の矢川橋上流区間の河道改修では、落差工の改良を行い、落差を小さくすることにより生物の移動を容易にする等環境改善を図り、等々力溪谷とともに周辺の景観と調和のとれた整備を行います。

丸子川では、老朽化の著しい箇所を補修するとともに緑化を図ります。



丸子川親水公園